



11/13 自転車の楽しさ体感 サイクルミーティング

愛南町の豊かな自然を自転車で体感するイベント「サイクルミーティング愛南」（主催：エコ愛南 渡邊かずあき代表）が開催され、町内外から約70人の自転車愛好家らが参加しました。今回は、健脚者向けの50kmコースと初心者向けの25kmコースが用意され、参加者は、南レクロッジを出発した後、自分のペースで秋の愛南を楽しみました。

高知県大月町から参加した絵本作家の永井みさえさんは「景色を楽しみながら、気持ちよく走ることができました。次回もぜひ参加したいです」と笑顔で話しました。

11/12 防火の輪を広げよう！ 御荘防火パレード

秋の全国火災運動に合わせて町全体に防火の輪を広げようと、御荘保育所幼年消防クラブや平城小学校少年消防クラブ、同校バトン・トランペット鼓隊など約150名が参加して御荘防火パレードが実施されました。

パレードは、ポンプ車を先頭に愛南警察署から御荘夢創造館までの約1kmで行われ、道行く人などに「火の用心」を呼びかけました。



あんなことや、 こんなこと—TOWNコミュ

本日!海日和!! vol.74 「黄金の魚で金運アップ!!」



黄金雀鯛 (コガネスズメダイ)

明けましておめでとうございます。連載をさせていただいて、もう6年になりました。今年も愛南の海を紹介させていただきます。どうぞよろしくお祈りします。

さて、今年は酉年である。海の中には、鳥にちなんだ名前の魚がたくさんいる。これらの名前は、生活スタイルや体の特徴が鳥に似ていることから名付けられたものが多い。スズメダイは体が小さく、群になって生活する様子がスズメに似ていることから、名前が付いたようである。愛南町にも多くの種類のスズメダイが住んでいる。

今回はお正月なので、コガネスズメダイを紹介したい。体長は15cm程度で、やや深いところに住んでいる。鮮やかな黄金色をしており、まさに泳ぐ小判である。イサキの外道として釣れるが、コガネスズメダイばかりが釣れて閉口したことがある。船の上で見ても美しい魚だが、やはり花より団子、イサキの方がうれしい。

話がそれたが、コガネスズメダイは、黄金と鯛で、めでたさも4倍の魚である。今年みなさんの金運も上がりますように。

(撮影地：鹿島)

愛南サンゴを守る会 西尾知照^{ともてる}

11/12・13 愛南町文化祭 2日間にわたって開催

愛南町文化祭（主催：愛南町文化協会）が御荘文化センターなどで2日間にわたって開催され、文化協会会員の皆さんが、ステージ発表や展示などで1年間の活動の成果を披露しました。「訪れた人に楽しんでもらえるように例年とは展示場所を大きく変えた」（事務局）という会場にはスタンプリーも設置され、2日間で約400人が楽しみました。



のびやかな歌声を披露する愛南町少年少女合唱団

11/18 科学研究の成果を発表



「四国に火山活動はあるのか!？」をテーマに、地元の岩石や地層、植物などを一つ一つ調べていった研究が評価され、一本松中学校2年生の宮岡幸大くんが「第60回日本学生科学賞愛媛県大会」で最優秀賞を受賞しました。松山市で行われた表彰式では、研究成果の発表を行い、「今後も小さなことにも興味を持ち、研究を通して人の役に立てるような職業につきたい」と目標を述べました。

11/19・20 「小春日の山頂我こそは空海」 晩秋のへんろ道ウォーク楽しむ

「トレッキング・ザ・空海あいなん」が開催され、2日間で約420人が参加して晩秋のへんろ道ウォークを楽しみました。

19日は、あいにくの雨模様。参加者は雨で滑りやすくなった松尾坂峠を越え、地元有志からお接待を受けて顔をほころばせていました。

20日は天気が回復し、鮮やかなウエアに身を包んだ参加者が柏坂を登りました。小学校1年生のお子さんと参加した浅野勇一郎さん（家串）は「前の日から楽しみにしていた。子どもが6年生になるまで毎年一緒に歩きたい」と笑顔。トレッキング終了後に行われた夏井いつきさんの句会ライブでは宮下武浩さんの



「小春日の山頂我こそは空海」が会場の支持を得て最優秀作品に選ばれました。

11/26 なーしくんが 二人の門出を祝福!

愛南町ご当地キャラクターの「なーしくん」が、ホテルサンパールで行われた西岡政貴さん、律さん（愛南町出身）の結婚披露宴に参加して二人の門出を祝福しました。

この企画は、町が実施する「スイート・スイーツ・ブライダル」事業の一環で行われたもので、町から二人に真珠のタイタックなどが贈呈されたほか、町内のパティシエが考案したスイーツが提供されるなど、愛南町ならではの披露宴となりました。



11/30 愛南町ふるさと親善大使に ミス・ユニバース愛媛代表の福岡佳奈子さん



2017 ミス・ユニバース・ジャパン愛媛大会でグランプリに輝いた医師の福岡佳奈子さん（愛南町出身）が町長を表敬訪問し、愛南町ふるさと親善大使の委嘱を受けました。

福岡さんは、10月の愛媛大会で約160人の応募者の頂点に立ち、来年7月に開催される日本大会に出場します。

「帰省するたびに祝福の垂れ幕が増えていて励みになる」と話す福岡さん。「出場するからには日本大会でも優勝をめざしたい。親善大使として、町の新しいことを発見しながら、魅力をお伝えしたい」と意欲をみせました。

12/2 ゴルフを通じて地域に貢献

ゴルフを通じて地域に貢献したいとの思いで続けられている「第20回一本松オープンチャリティゴルフコンペ」（11/20 四万十市）で集まった寄付金の贈呈式が、福岡内科外科医院（一本松）で行われました。大会の実行委員長を務める福岡義人さんから、ありんこくらぶ、町教育委員会、町内保育所・幼稚園に対して目録が手渡されました。

福岡実行委員長は、「好きなゴルフで地域に貢献したいとの思いで続けている。図書購入に充ていただき、愛南の子どもたちになるべく本を読んでもらえたら」と話しました。



写真左から福岡実行委員長、宮崎さん、中村教育長、田村城辺保育所長